**認定URAの認定申請に係る自己アピール書の書き方と様式２**

1. 自己アピール書は，この書き方の後に付いている様式２を用いて，申請者自身が２ページ以内で書いてください。

自己アピール書は，審査において，申請者がURAとして自立的に問題解決をする能力を備えているかの判断に用いられます。それらが分かるように，自身の業務上の役割や創意工夫等を含めて具体的に書いてください。その際，様式1で記載したURA業務（類似業務を含む）のうち，主に直近3年間の業務について次の2つについて項目立てをして説明してください。

* 特にアピールしたいURA業務（類似業務を含む）の経験
* その経験において，申請者の自立的な問題解決能力を証明する自身の役割・貢献
1. 理解し易くするために，図，表を用いても構いません。
2. 書き方に関する注意
* 様式の枠は変更しないでください。ただし，文字数が多くなって，縦方向に拡がることは構いません。
* 様式の申請者が記入する部分は，文字サイズ10.5ポイントで作成してください。それ以外のサイズは使用しないでください。
* 様式の申請者が記入する部分では，フォントは游明朝，文字の色は黒にしてください。ただし，強調したいところを太字にしたり，色を変えたり，別のフォントにすることは構いません。
* 各様式の緑字で書かれた説明や指示は，提出前に消してください。提出の際は，不要の部分を削って，自己アピール書（様式2）のページだけにしてください。

自己アピール書（様式2）

（申請者が２ページ以内で書いてください。提出時には，緑字の部分は消してください。）

作成日（西暦）　　　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者氏名 |  |
| 所属機関部署・職名 |  |

この様式は，申請者がURAとして自立的に問題解決をする能力を備えているかの判断に用いられます。それらが分かるように，自身の業務上の役割や創意工夫等を含めて書いてください。具体的には，様式1で記載した主に直近3年間の業務（複数可）について次の2つについて項目を立てて説明してください。

* 特にアピールしたいURA業務（類似業務を含む）の経験
* その経験において，申請者の自立的な問題解決能力を証明する自身の役割・貢献

　ここで，**自立的という語は，スキルカードの中級で示されているレベルを意味します**。なお，**スキルカードに書かれている業務内容は申請者の業務に一致するとは限りません。スキルカードはそこに書かれている業務についてのレベル感を表すもの**ですので，その場合は自身の業務に照らして理解してください。

提出時には，緑字の部分は消してください。